令和７年度　みんなの防災講座　アンケート　質問への回答一覧

No.	質問	回答
1	私の地域は避難が難しい。 対策を講ず必要あり。	危機感を抱いている地域は防災意識が高い傾向にあります。 東日本大震災でも、海岸近くに居住している人の方が、避難場所を家族で決めていたので、生存できたケースもあります。 被害想定をよく見直して、自分から問題視し、隣組や自治会、住民自治協議会へと意識を高め、防災対策をしていく必要があります。
2	避難所が遠い、近くに高台が無い、どの道を通っていけばよいか等お聞きしたいです。	海沿い、高い建物が無いとなると、課題は大きなものになると思われます。津波到達時間までどのぐらいあるのか？川沿いの道を使うしか方法がない場合は、津波到達時間内でどこまで行けるのか？、持ち出し袋を持っていくのは大切なことですが、切羽詰まった状況ならば、身一つで危険な場所からいち早く逃げることに専念するべきです。
3	各地区の特徴があると思いますが、地区に来ていただくと住民の意識が高くなると思います。	お住いの土地の特徴により、被災のタイプが違ってきます。特徴を理解し、利点欠点を明確にして防災をみんなで考えることは大切ですね微力ながら、一緒に悩ませてもらいます。
4	防災訓練をする場合の注意点	災害の際に、地域でどのように避難するのか？どこを避難場所とするのか？避難後は避難所運営は住民の自主運営に任されますので、どのようなシステムにするのかなど事前に決めておかなければなりません。地区防災のマニュアル化が急がれます。そのマニュアルに則った訓練を繰り返し行い、必ず訓練の振り返りをすることが大切です。滞ってしまった事を話し合い、課題を発見してマニュアルを塗り替えていく。防災は訓練により、より完成度が高まるようにしたいですね。松阪市で指定した訓練内容で満足していてはだめです。
5	課題は同じでした、参考にさせていただきます。	ありがとうございます。課題をすんなりと解決できる術があればよいのですが、課題だらけが災害の現状です。しかし、少しでも前進したいですね。
6	避難所の場所がありません。	避難場所のことでしょうか？危険な状態から抜け出すことのできる場所が無いのは本当に問題です。詳しく聞かせてもらって、一緒に考えてみたいです。避難所となると、指定避難所は小学校になりますが、全ての被災者を収容することは難しいと思われます。
7	トイレの作り方など実際にできればと思います。	ぜひお声がけください。一緒につくってみましょう。